

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月27日

上場会社名 カゴメ株式会社
 コード番号 2811 URL <http://www.kagome.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜岡 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 長井 進
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東 名

TEL 03-5623-8501

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	98,179	—	2,841	—	2,973	—	1,101	—
20年3月期第2四半期	110,142	9.8	8,161	10.0	7,488	14.9	4,422	25.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	11.06	—
20年3月期第2四半期	44.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第2四半期	146,238	—	90,173	—	60.3	885.40
20年3月期	135,348	—	90,378	—	65.3	887.26

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 88,162百万円 20年3月期 88,355百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△5.2	7,200	△26.9	7,000	△16.3	2,800	△32.8	28.12

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
(注)詳細は、5～6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	99,616,944株	20年3月期	99,616,944株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	43,176株	20年3月期	34,749株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	99,580,694株	20年3月期第2四半期	99,586,091株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日～9月30日）の連結売上高は、前年同期に比較し減少いたしました。前第2四半期累計期間（平成19年4月1日～9月30日）は、平成19年3月に発売した「野菜生活100 黄の野菜」などヒット商品に恵まれ、大きな需要を創ることができましたが、当第2四半期累計期間は、これら新商品の一時的な需要増効果が薄れたことに加え、お客様の購買行動に大きな影響を与えるほどの明らかな経済・社会環境の変化による節約意識の高まり等々のため、野菜飲料の売上は前年同期間を大きく下回りました。また乳酸菌事業において、赤字商品であった動物性乳酸菌を活用した一部既存商品の終売等により売上が減少いたしました。

販売価格につきましては、原材料コストの高騰に対して平成20年7月1日より野菜飲料等の出荷価格を改定いたしました。また、積極的な需要拡大策として当第2四半期には、性別や世代を問わず多くのお客様から支持され、信頼感のある吉永小百合さんを起用し、「野菜の色にはチカラがある。-phyto color（ファイト・カラー）」というキャッチコピーで広告宣伝を展開し、「野菜の日」キャンペーンなど店頭での販売促進策を実施いたしました。

利益面につきましては、固定費を中心とした全ての費用の削減に努めましたが、売上の減少及び原材料コストの高騰等により、営業利益は前年同期比53億20百万円の減少となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における連結売上高は、前年同期比10.9%減の981億79百万円、営業利益は前年同期比65.2%減の28億41百万円、経常利益は前年同期比60.3%減の29億73百万円、四半期純利益は前年同期比75.1%減の11億1百万円となりました。

なお、海外事業におきましては、全世界規模での原料・物流コストの上昇という事業環境の変化に対応し、北米における事業展開を再構築いたします。具体的には経営資源をより一層の成長が期待できるフードサービス事業に集中させるため、野菜飲料事業の一時休止を8月29日に発表いたしました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

<食品セグメント>

食品セグメントの売上高は、前年同期比10.7%減の972億80百万円となりました。食品セグメントにおける事業別の売上高の状況は、以下の通りです。

① 飲料事業

野菜飲料事業につきましては、平成20年3月より、幅広い層で人気の高いPUFFYを起用し、事業提供価値である「野菜生活」のブランドイメージ強化を目的とした広告展開を行いました。より身近なブランドとして認識していただくことを狙いとし、“前向きスイッチ新・野菜生活”というキャッチフレーズで、感性や情緒に訴えるコミュニケーションを実施いたしました。

消費者キャンペーンにつきましても、コミュニケーションと連動し、“前向きスイッチキャンペーン”企画を展開、「野菜生活」の積極的な拡販を行いました。6月には「野菜生活100 野菜とヨーグルト」、7月には「野菜生活100 朝のむ野菜」、9月には「とろける野菜生活100」と、中核ブランドから新商品を間断なく投入、市場の活性化を図りました。しかしながら、これまでの好調な売上伸長の反動や、物価上昇を背景とした消費者の生活防衛意識の高まりもあって、売上は伸び悩みました。

一方で、今年度より全量国産化した缶入りトマトジュースや、一部国産化したペットボトル入りトマトジュースは大変ご好評をいただいております。

お茶飲料事業につきましては、昨年好評であった「六条麦茶」のエリア限定パッケージを拡大し、より地域密着型のブランドとして消費者への深耕を図るとともに、ノンカフェインの安心飲料という価値の定着に努めました。

その結果、飲料事業の売上高は、前年同期比21.0%減の455億44百万円となりました。

② 乳酸菌事業

平成18年春から発売した「植物性乳酸菌ラブレ」は、乳酸菌飲料市場に新たな価値を提供することによって、この市場の活性化を図ってまいりました。また、平成20年5月には「植物性乳酸菌ラブレ ヨーグルトタイプ」をさらにおいしく機能感を訴求した商品へリニューアルし、7月より関東・甲信越地区、9月より東北地区で発売開始し、売上の向上に貢献いたしました。また、「植物性乳酸菌ラブレ ドリンクタイプ」の売上は低迷いたしました。

前期に引き続き、動物性乳酸菌を活用した一部既存商品を終売とすることで、商品ラインナップの再編を行うとともに、昨今の原材料高騰に対応し、生産効率の向上、原価低減を進めてまいりました。

その結果、乳酸菌事業の売上高は、前年同期比22.1%減の63億98百万円となりました。

③ 食品事業

調味料事業においては、主力のトマトケチャップで、新商品「あらごし」の導入、「熟つぶケチャップ」のリニューアルを実施いたしました。またトマトケチャップのプロモーションでは、親と子のふれあいをテーマに「オムレター（卵料理にトマトケチャップでメッセージを書く）」を提案し、トマトケチャップの需要拡大を図ってまいりました。トマト調味料では、「完熟カットトマト&炒めた玉ねぎ」を導入いたしました。内食の高まりに関連して、トマト関連調味料の需要は高まり、売上が拡大いたしました。

調理食品事業においては、市場が伸び悩み、売上は低迷いたしました。

その結果、食品事業の売上高は、前年同期比0.2%増の145億46百万円となりました。

④ ギフト事業

「フルーツジュースギフト」・「フルーツ+野菜飲料ギフト」を始め、主力の全商品群で売上拡大を達成いたしました。特に「国産プレミアムジュースギフト」と「野菜飲料ギフト」は取扱いを拡大し、贈答市場における健康・こだわり需要への対応力強化に大きく寄与いたしました。

その結果、ギフト事業の売上高は、前年同期比5.9%増の52億27百万円となりました。

⑤ 業務用事業

平成20年2月に新調味料「和トマトシリーズ」や「ダイストマトソース」などを発売いたしました。新商品の提案に注力するとともに、トマト素材の価格政策を変更し、その浸透に努めてまいりました。また、開発営業の強化により、ユーザー向け受託商品の販売は、堅調に推移いたしました。

また、KAGOME INC. においても売上を伸ばしたことに加え、当期より連結子会社となりました Vegitalia. S.p.A. の売上も加わっております。

その結果、業務用事業の売上高は、前年同期比12.0%増の182億76百万円となりました。

⑥ 生鮮野菜事業

家庭用では「こくみ」ブランドの主力商品である「ラウンド、プラム、ミディ」の容量ラインナップの拡大、「ラウンド、ミディ」のバラエティとして香りさわやかな「房摘みタイプ」を展開するなど需要拡大を図ってまいりました。昨秋全国発売を開始いたしました中までしっかり赤い「高リコピントマト」、スナック感覚で味わえる「スナックトマト」は生鮮トマト売場を活性化し順調な売上推移となりました。

店頭では野菜飲料やトマトソースなどの商品と「トマトフェア」を催し需要促進を図りましたが、家庭用全体では前年同期を下回りました。

また、業務用トマト「デリカ」の外食ユーザーへの提案を積極的に推進いたしました。

その結果、生鮮野菜事業の売上高は前年同期比0.6%減の36億20百万円となりました。

⑦ 通販事業

「植物性乳酸菌ラブレ」のサプリメントタイプ「カプセル」と「タブレット」を発売し、新たな販売手法の構築に注力いたしました。

サプリメントカテゴリーの拡大には、これまでの主力商品である「毎日飲む野菜」「旬しぼり」シリーズとは違う顧客層の取り込みが必要であることから、チラシ媒体への取り組みなど新たな販売ノウハウの構築を重点課題とし、主力商品への広告出稿よりも、新たな販売手法の「試行」を重点においた活動を行いました。

その結果、通販事業の売上高は、前年同期比1.5%増の35億24百万円となりました。

⑧ その他

原材料売却等による売上は、前年同期比44.8%減の1億42百万円となりました。

<その他のセグメント>

運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等を合わせたその他のセグメントの売上高は、前年同期比10.6%減の64億91百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末は、総資産が前期末に比べ108億90百万円増加いたしました。

主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が37億5百万円、リース取引に関する会計基準の適用に伴い「リース資産」が32億72百万円それぞれ増加したことに加え、新規連結子会社Vegitalia S.p.A.の固定資産が33億21百万円増加したことによります。

主な負債の変動は、リース取引に関する会計基準の適用に伴い「リース債務」が32億85百万円増加したことに加え、新規連結子会社Vegitalia S.p.A.の増加に伴い借入金が36億68百万円増加したことによります。

主な純資産の変動は、剰余金の配当14億93百万円と、四半期純利益11億1百万円により利益剰余金が3億92百万円減少したことと、「繰延ヘッジ損益」が4億32百万円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は60.3%、1株当たり純資産は885円40銭となりました。

なお、主な保証債務には、(有)いわき小名浜菜園の銀行借入に対する保証11億円、世羅菜園㈱の銀行借入に対する保証6億73百万円がございます。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第2四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、99億93百万円となり、前期末比で30億66百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、24億83百万円の純収入となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が28億21百万円となったこと、減価償却費が34億66百万円となったこと、及び売上債権が34億42百万円、たな卸資産が19億89百万円増加したこと（それぞれキャッシュの純支出）、未払金が15億61百万円増加したこと（キャッシュの純収入）によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、18億43百万円の純支出となりました。この主要因は、固定資産の取得により20億96百万円を支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、37億74百万円の純支出となりました。この主要因は、借入金の純返済による15億30百万円の支出と、配当金支払額14億73百万円によります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の結果を受けて、当第3四半期以降は、新製品の投入など継続的に需要拡大策を実施いたします。

また当第2四半期より、一層の利益獲得を目指すべく売上原価や販売固定費、一般管理費の見直しなどコスト削減を行っております。その効果が当第3四半期以降の業績に現れてまいります。

① 飲料事業

野菜飲料事業につきましては、野菜飲料の新しい提供価値の創造と商品開発・改良を実施することにより、野菜飲料市場の更なる拡大に積極的に取り組んでまいります。

また、CMについては吉永小百合さんを起用、「野菜の色にはチカラがある」ことを訴求しながら、5色の彩りバリエーションを強みとした野菜生活ブランドを中心に需要喚起と売上拡大に努めます。店頭活動においても、森永製菓㈱とのタイアップ「カラフルケーキ」企画や、受験シーズン前の「受験生応援フェア」企画などで露出機会の最大化を図ってまいります。

お茶飲料事業につきましては、ノンカフェインの安心飲料という価値の定着に努めてまいります。

フルーツ飲料事業につきましては、「b e j u i c y !」の拡販を図り、カゴメらしいフルーツジュースの提案を進めてまいります。

② 乳酸菌事業

引き続き「植物性乳酸菌ラブレ菌」の機能価値（便通改善・免疫力の向上）を、多くのお客様へお伝えする価値伝達活動を積極的に展開してまいります。また、健康長寿に貢献する製品として、介護保険施設などを対象とした「植物性乳酸菌ラブレ62ml」を発売いたします。これにより更なる売上の拡大を図るとともに、製造原価及び物流費の低減、販売促進費の効率化等を進め、利益改善に取り組んでまいります。

③ 食品事業

トマトケチャップは、㈱ベネッセコーポレーションと共同で、「子供の健やかな成長の応援」をテーマにした「おやこのニコニコ食卓キャンペーン」を実施いたします。幼稚園を中心としたお子様に人気が高い㈱ベネッセコーポレーション「こどもちゃれんじ」のキャラクター「しまじろう」と共同で、「マストバイキャンペーン」や「オムレター（卵料理にケチャップでメッセージを書く）」の提案などを実施し、ケチャップの情緒的価値を高めると共に、需要拡大を狙ってまいります。

トマト調味料では、レトルトパウチの「メニュー専用トマトソース」を一新いたしました。簡便性の訴求によりトマトメニューのエントリー層の需要拡大を図ってまいります。

調理食品事業では、セット食品の回復を目指すべく、従来の「カゴメデリ」から、新シリーズ「押し麦ごはん」に一新いたします。「カフェを意識したパッケージ」や「押し麦のヘルシー訴求」、定評の高い「リゾット」・「ドリア」のメニュー展開により、コアターゲットである若年女性との関係強化と需要喚起を狙ってまいります。

④ ギフト事業

「フルーツジュースギフト」・「フルーツ+野菜飲料ギフト」に加え、人気の「国産プレミアムジュースギフト」・「野菜飲料ギフト」で、健康・こだわりの贈答需要を創造形成し、中元歳暮のみならず、通年における新たな贈答機会への対応力強化によりギフトビジネスの継続成長を目指してまいります。

⑤ 業務用事業

オムライスなどケチャップメニューの情報発信による需要活性化や「冷凍やわか野菜」の介護食市場での定着化に取り組んでまいります。合わせて、冷凍地中海料理野菜・トマト素材の的確な価格政策を実施することにより、収益力の向上を図ってまいります。

⑥ 生鮮野菜事業

家庭用では「高リコピントマト」・「スナックトマト」・「こくみキッズチェリー」など新しいトマトの価値伝達を展開し、これらの売上拡大を図るとともに、新たに「黒トマト(織部)」・「ジュースシートマト」など首都圏を中心にテスト販売し、新たな提案をしてまいります。

業務用では外食・中食市場への販売を強化するため、大手外食チェーンや惣菜業態へのトマトメニューの提案をしてまいります。

⑦ 通販事業

「植物性乳酸菌ラブレ」のサプリメントに続き、野菜や植物がもつ健康機能成分を凝縮したサプリメント「植物性サプリメント」5種類を10月に発売いたしました。

今後も、増大する健康ニーズに対応する商品群を更に充実させるとともに、新たなノウハウを早期に体内化し、サプリメントカテゴリーの拡大に注力してまいります。

これらを反映した通期の連結業績について、第3四半期以降も厳しい要因が多く不透明な環境下での経営を余儀なくされるものの上記施策を着実に実行することにより計画到達は可能であると考えており、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想（平成20年7月25日）を据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ30百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③たな卸資産の処分に係る損失の計上区分

従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の売上総利益が434百万円減少し、営業利益が244百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

④「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

⑤リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は60百万円増加し、営業利益は84百万円増加し、経常利益は18百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は80百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

（追加情報）

平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は167百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ183百万円増加しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,486	5,863
受取手形及び売掛金	30,028	26,322
有価証券	2,540	7,338
商品及び製品	7,349	6,979
仕掛品	31	37
原材料及び貯蔵品	14,670	12,601
その他	12,926	10,234
貸倒引当金	△106	△92
流動資産合計	74,927	69,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,311	14,400
機械装置及び運搬具(純額)	17,356	17,283
工具、器具及び備品(純額)	843	853
土地	12,431	12,190
リース資産(純額)	3,245	—
建設仮勘定	689	152
有形固定資産合計	49,878	44,881
無形固定資産		
のれん	242	19
ソフトウェア	1,611	1,589
その他	465	422
無形固定資産合計	2,320	2,031
投資その他の資産		
投資有価証券	14,892	15,010
その他	4,381	4,303
貸倒引当金	△162	△163
投資その他の資産合計	19,111	19,150
固定資産合計	71,310	66,062
資産合計	146,238	135,348

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,034	14,170
短期借入金	4,365	2,487
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払金	11,202	10,026
未払法人税等	1,658	162
賞与引当金	1,882	1,839
役員賞与引当金	13	73
その他	2,629	1,048
流動負債合計	38,787	31,807
固定負債		
長期借入金	6,789	5,000
退職給付引当金	2,604	2,520
その他	7,883	5,641
固定負債合計	17,277	13,162
負債合計	56,064	44,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	23,733	23,733
利益剰余金	43,597	43,989
自己株式	△57	△42
株主資本合計	87,259	87,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	975	1,022
繰延ヘッジ損益	423	△9
為替換算調整勘定	△495	△323
評価・換算差額等合計	903	689
少数株主持分	2,011	2,022
純資産合計	90,173	90,378
負債純資産合計	146,238	135,348

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	98,179
売上原価	53,154
売上総利益	45,025
販売費及び一般管理費	42,183
営業利益	2,841
営業外収益	
受取利息	67
受取配当金	126
持分法による投資利益	88
その他	342
営業外収益合計	624
営業外費用	
支払利息	304
休止固定資産減価償却費	105
その他	83
営業外費用合計	493
経常利益	2,973
特別利益	
固定資産売却益	2
投資有価証券売却益	61
特別利益合計	63
特別損失	
固定資産処分損	112
リース会計基準適用に伴う影響額	98
ゴルフ会員権評価損	4
特別損失合計	216
税金等調整前四半期純利益	2,821
法人税、住民税及び事業税	1,931
法人税等調整額	△214
法人税等合計	1,716
少数株主利益	2
四半期純利益	1,101

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成20年9月30日)

売上高	49,559
売上原価	26,262
売上総利益	23,297
販売費及び一般管理費	21,960
営業利益	1,336
営業外収益	
受取利息	39
受取配当金	12
持分法による投資利益	4
その他	203
営業外収益合計	260
営業外費用	
支払利息	152
休止固定資産減価償却費	54
その他	99
営業外費用合計	306
経常利益	1,290
特別利益	
投資有価証券売却益	61
特別利益合計	61
特別損失	
固定資産処分損	9
ゴルフ会員権評価損	4
特別損失合計	13
税金等調整前四半期純利益	1,337
法人税、住民税及び事業税	1,157
法人税等調整額	△212
法人税等合計	945
少数株主損失(△)	△15
四半期純利益	407

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,821
減価償却費	3,466
リース会計基準適用に伴う影響額	98
受取利息及び受取配当金	△193
支払利息	304
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△78
その他の引当金の増減額 (△は減少)	97
持分法による投資損益 (△は益)	△88
固定資産処分損	112
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,442
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,989
未収入金の増減額 (△は増加)	714
仕入債務の増減額 (△は減少)	472
未払金の増減額 (△は減少)	1,561
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,710
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	695
その他の増加額	89
その他の減少額	△330
小計	2,599
利息及び配当金の受取額	180
利息の支払額	△283
法人税等の支払額	△588
法人税等の還付額	575
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△5
有価証券の売却による収入	276
固定資産の取得による支出	△2,096
固定資産の除却による支出	△13
固定資産の売却による収入	17
貸付けによる支出	△282
貸付金の回収による収入	147
その他の増加額	117
その他の減少額	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,843

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入れによる収入	1,377
借入金の返済による支出	△2,907
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△475
少数株主からの株式取得による支出	△227
配当金の支払額	△1,473
少数株主への配当金の支払額	△54
自己株式の取得による支出	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	52
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,081
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15
現金及び現金同等物の期首残高	13,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,993

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)				
	食品(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	49,147	411	49,559	—	49,559
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	2,798	2,799	(2,799)	—
計	49,149	3,209	52,359	(2,799)	49,559
営業費用	48,047	2,975	51,022	(2,799)	48,223
営業利益	1,102	234	1,336	—	1,336

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)				
	食品(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	97,277	901	98,179	—	98,179
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	5,589	5,592	(5,592)	—
計	97,280	6,491	103,772	(5,592)	98,179
営業費用	94,893	6,037	100,930	(5,592)	95,338
営業利益	2,386	454	2,841	—	2,841

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1) 食品……………飲料、食品、業務用、生鮮野菜、通販等

(2) その他……………運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等

3 すべての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

4 会計方針の変更

(たな卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ②に記載の通り、通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は30百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(たな卸資産の処分に係る損失の計上区分)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ③に記載の通り、従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は244百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ④に記載の通り、当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。

(リース取引に関する会計基準の適用)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ⑤に記載の通り、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用が81百万円、「その他」の営業費用が2百万円それぞれ減少し、営業利益がそれぞれ同額増加しております。

5 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】 4 (追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は167百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)				
	日本(百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	45,979	3,580	49,559	—	49,559
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	224	235	(235)	—
計	45,990	3,804	49,795	(235)	49,559
営業費用	44,182	4,276	48,458	(235)	48,223
営業利益又は営業損失(△)	1,808	△472	1,336	—	1,336

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)				
	日本(百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	91,059	7,120	98,179	—	98,179
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	582	602	(602)	—
計	91,079	7,702	98,782	(602)	98,179
営業費用	87,472	8,468	95,940	(602)	95,338
営業利益又は営業損失(△)	3,607	△765	2,841	—	2,841

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっておりますが、日本以外のいずれの国又は地域の売上高も全セグメントの売上高の合計額の10%未満であるため、その他の地域に一括して表示しております。

2 その他の地域の主なものは、米国、台湾、中国、イタリアであります。

3 全ての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

4 会計方針の変更

(たな卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4(3)②に記載の通り、通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は30百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(たな卸資産の処分に係る損失の計上区分)

【定性的情報・財務諸表等】4(3)③に記載の通り、従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用が233百万円、「その他」の営業費用が10百万円それぞれ増加し、営業利益がそれぞれ同額減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ④に記載の通り、当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。

(リース取引に関する会計基準の適用)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ⑤に記載の通り、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は84百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

5 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】4 (追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は167百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間
	(平成20年3月期 第2四半期)
	金 額
I 売 上 高	110,142
II 売 上 原 価	57,116
売 上 総 利 益	53,026
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	44,864
営 業 利 益	8,161
IV 営 業 外 収 益	398
受 取 利 息	102
受 取 配 当 金	87
負 の の れ ん 償 却 額	51
そ の 他	156
V 営 業 外 費 用	1,070
支 払 利 息	115
た な 卸 資 産 廃 棄 損	794
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	89
為 替 差 損	1
そ の 他	69
経 常 利 益	7,488
VI 特 別 利 益	153
固 定 資 産 売 却 益	153
投 資 有 価 証 券 売 却 益	0
VII 特 別 損 失	170
固 定 資 産 処 分 損	166
投 資 有 価 証 券 評 価 損	3
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	0
税 金 等 調 整 前 益	7,471
中 間 純 利 益	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	2,762
法 人 税 等 調 整 額	332
少 数 株 主 損 失	△ 46
中 間 純 利 益	4,422

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

（単位：百万円）

項 目	前中間連結会計期間 (平成20年3月期 第2四半期)	
	金 額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益		7,471
減価償却費		3,137
受取利息及び配当金	△	189
支払利息		115
賞与引当金の増減額	△	726
その他引当金の増減額		115
持分法による投資損益		89
固定資産処分損		166
売上債権の増減額	△	9,174
たな卸資産の増減額	△	2,731
未収入金の増減額	△	542
仕入債務の増減額		2,886
未払金の増減額		1,079
その他流動資産の増加額	△	897
その他流動負債の増加額		215
その他の増加額		50
その他の減少額	△	232
小 計		833
利息及び配当金の受取額		230
利息の支払額	△	104
法人税等の支払額	△	2,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	1,060
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△	3,446
有価証券の売却による収入		0
固定資産の取得による支出	△	5,093
固定資産の売却による収入		151
貸付による支出	△	200
貸付金の回収による収入		20
その他の増加額		71
その他の減少額	△	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	8,557
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入		882
借入金の返済による支出	△	1,000
少数株主からの払込みによる収入		40
配当金の支払額	△	1,478
少数株主への配当金の支払額	△	57
自己株式の取得及び売却による増減額	△	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	1,618
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		19
V 現金及び現金同等物の増減額	△	11,217
VI 現金及び現金同等物の期首残高		29,981
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高		18,764

(3)セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

（単位：百万円）

	食品	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	108,981	1,160	110,142	—	110,142
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5	6,100	6,106	(6,106)	—
計	108,987	7,261	116,248	(6,106)	110,142
営業費用	101,404	6,683	108,087	(6,106)	101,981
営業利益	7,583	578	8,161	—	8,161

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1)食 品 …………… 飲料、食品、業務用、生鮮野菜、通販等

(2)そ の 他 …………… 運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等

3 全ての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

(2) 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(3) 海外売上高

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

(1) 主要な経営指標等の推移 【連結経営指標等】

決算年月	平成19年9月	平成20年9月	平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月 予想
会計期間	自 平成19年 4月1日 至 平成19年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成18年 4月1日 至 平成19年 3月31日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	110,142	98,179	187,004	200,483	190,000
売上高伸び率 (%)	9.8	△10.9	12.3	7.2	△5.2
営業利益 (百万円)	7,429	2,841	8,668	8,786	7,200
売上高営業利益率 (%)	6.7	2.9	4.6	4.4	3.8
経常利益 (百万円)	7,488	2,973	8,296	8,366	7,000
売上高経常利益率 (%)	6.8	3.0	4.4	4.2	3.7
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (百万円)	7,471	2,821	7,673	7,964	6,500
売上高税金等調整前四半期 (当期) 純利益率 (%)	6.8	2.9	4.1	4.0	3.4
四半期 (当期) 純利益 (百万円)	4,422	1,101	4,086	4,167	2,800
売上高四半期 (当期) 純利益率 (%)	4.0	1.1	2.2	2.1	1.5
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	44.41	11.06	45.08	41.85	28.12
自己資本四半期 (当期) 純利益率 (%)	4.8	1.2	5.1	4.7	—
総資産経常利益率 (%)	4.9	2.1	5.9	5.9	—
総資産 (百万円)	159,149	146,238	153,219	138,682	—
純資産 (百万円)	94,506	90,173	92,399	90,378	—
自己資本比率 (%)	58.1	60.3	59.0	63.7	—
1株当たり純資産 (円)	929.29	885.40	908.07	887.26	—
四半期 (期末) 株価 (円)	2,050	1,643	1,875	1,778	—
株価収益率 (倍)	46.2	148.6	41.6	42.5	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△694	2,483	8,881	2,225	—
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△8,557	△1,843	△8,513	△14,999	—
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△1,984	△3,774	14,103	△4,091	—
現金及び現金同等物の四半期 (期末) 残高 (百万円)	18,764	9,993	29,981	13,059	—
従業員数 (名)	2,028	2,100	2,002	1,904	—
[外、平均臨時雇用者数]	[1,101]	[1,279]	[644]	[1,134]	—
固定投資額 (百万円)	4,820	1,846	8,780	6,982	3,060
[うち有形固定資産]	[4,618]	[1,589]	[8,414]	[6,504]	[2,750]
減価償却費 (百万円)	3,504	3,446	6,325	7,471	7,010
[うち有形固定資産]	[3,249]	[3,177]	[5,832]	[6,943]	[6,530]
研究開発費 (百万円)	1,371	1,367	2,746	2,895	2,820
広告宣伝費 (百万円)	4,615	5,148	7,958	7,376	6,110
期中米ドル決済レート (注3) (円)	110.6	103.03	108.4	110.5	—

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 平成19年9月第2四半期、平成19年3月期及び平成20年3月期については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

3. 当社の決済レートを記載しております。

(2) 当社グループの状況及び業績

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権 の 所有割合		前第2四半期 累計期間 (百万円)	当第2四半期 累計期間 (百万円)	増減率 (%)
当社						
カゴメ(株) 食品製造販売業 (注1)	19,985百万円 3月	—	売上高	102,192	88,961	△12.9%
			営業利益	6,699	3,122	△53.4%
			四半期純利益	4,249	1,912	△55.0%
			総資産	141,775	127,663	△10.0%
			純資産	90,176	88,618	△1.7%
連結子会社						
カゴメ不動産(株) 不動産業	98百万円 2月	100%	売上高	486	474	△2.4%
			営業利益	125	139	+11.0%
			四半期純利益	83	127	+52.5%
			総資産	3,398	3,256	△4.2%
			純資産	2,060	2,216	+7.5%
カゴメ物流サービス(株) 物流業・倉庫業・ 指定自動車整備業 (注1)	80百万円 2月	100%	売上高	6,684	5,925	△11.3%
			営業利益	322	202	△37.3%
			四半期純利益	189	137	△27.7%
			総資産	4,193	3,962	△5.5%
			純資産	1,965	2,137	+8.7%
KAGOME INC. 食品製造販売業	33百万 米ドル 12月	100%	売上高	4,814 [40,070千米ドル]	5,702 [54,347千米ドル]	+18.4% [+35.6%]
			営業利益	119 [994千米ドル]	△137 [△1,306千米ドル]	— [—]
			四半期純利益	44 [367千米ドル]	△68 [△652千米ドル]	— [—]
			総資産	7,020 [56,958千米ドル]	6,578 [61,817千米ドル]	△6.3% [+8.5%]
			純資産	2,492 [20,222千米ドル]	3,883 [36,490千米ドル]	+55.8% [+80.4%]
カゴメラビオ(株) 食品製造販売業 (注1)	98百万円 2月	100%	売上高	5,503	5,830	+5.9%
			営業利益	155	△180	—
			四半期純利益	96	△321	—
			総資産	13,513	12,042	△10.9%
			純資産	1,018	385	△62.2%
台湾可果美股份有限公司 食品製造販売業	316百万 台湾ドル 12月	50.40%	売上高	1,206 [331百万台湾ドル]	1,205 [355百万台湾ドル]	△0.1% [+7.3%]
			営業利益	80 [22百万台湾ドル]	109 [32百万台湾ドル]	+35.0% [+44.9%]
			四半期純利益	77 [21百万台湾ドル]	87 [25百万台湾ドル]	+13.0% [+21.3%]
			総資産	2,949 [785百万台湾ドル]	3,041 [867百万台湾ドル]	+3.1% [+10.4%]
			純資産	2,519 [670百万台湾ドル]	2,360 [672百万台湾ドル]	△6.3% [+0.3%]
加太菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	90百万円 2月	70.00%	売上高	365	470	+29.0%
			営業利益	36	114	+217.4%
			四半期純利益	25	100	+292.6%
			総資産	2,029	1,985	△2.2%
			純資産	△418	△416	—
可果美(杭州)食品 有限公司 食品製造販売業	17.1百万 米ドル 12月	61.00%	売上高	121 [7百万円]	199 [13百万円]	+64.5% [+72.3%]
			営業利益	△210 [△13百万円]	△143 [△9百万円]	— [—]
			四半期純利益	△210 [△13百万円]	△159 [△10百万円]	— [—]
			総資産	664 [41百万円]	977 [63百万円]	+47.1% [+53.5%]
			純資産	405 [25百万円]	879 [56百万円]	+116.7% [+126.1%]

名称及び事業内容	資本金及び決算期	議決権の所有割合		前第2四半期累計期間 (百万円)	当第2四半期累計期間 (百万円)	増減率 (%)
響灘菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	50百万円 2月	66.00%	売上高	253	564	+123.0%
			営業利益	△5	155	—
			四半期純利益	△49	103	—
			総資産	1,506	2,543	+68.9%
			純資産	△307	△457	—
ケイ・エイチ デリカ(株) 惣菜店の経営	50百万円 2月	60.00%	売上高	—	25	—
			営業利益	—	△17	—
			四半期純利益	—	△17	—
			総資産	—	57	—
			純資産	—	52	—
Vegitalia S.p.A. 食品製造販売業 (注2)	6百万ユーロ 12月	100%	売上高	223 [1,397千ユーロ]	595 [3,710千ユーロ]	+167.0% [+165.4%]
			営業利益	△320 [△2,009千ユーロ]	△542 [△3,382千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	△536 [△3,358千ユーロ]	△744 [△4,634千ユーロ]	— [—]
			総資産	7,376 [44,535千ユーロ]	7,169 [42,658千ユーロ]	△2.8% [△4.2%]
			純資産	636 [3,843千ユーロ]	600 [3,571千ユーロ]	△5.7% [△7.1%]

持分法適用会社（関連会社）

世羅菜園(株) 農産物の生産・販売	85百万円 2月	47.06%	売上高	488	609	+24.8%
			営業利益	99	189	+90.9%
			四半期純利益	107	195	+81.2%
			総資産	1,743	1,794	+2.9%
			純資産	△9	81	—
(有)いわき小名浜菜園 農産物の生産・販売	10百万円 2月	49.00%	売上高	504	729	+44.5%
			営業利益	△88	△3	—
			四半期純利益	125	△40	—
			総資産	3,301	2,767	△16.2%
			純資産	△1,148	△1,421	—
Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. 食品製造販売業	550千ユーロ 12月	43.00%	売上高	— [—]	3,313 [20,639千ユーロ]	— [—]
			営業利益	— [—]	22 [141千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	— [—]	114 [711千ユーロ]	— [—]
			総資産	— [—]	7,019 [41,767千ユーロ]	— [—]
			純資産	— [—]	1,154 [6,870千ユーロ]	— [—]

- (注) 1. 前第2四半期累計期間については、当期の会計基準に組替えて表示しております。
2. 資本金及び議決権の所有割合については、2008年9月末時点の表示としております。

(3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 連結会計期間末 (平成19年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)								
I 流 動 資 産								
現金及び預金		6,786		7,486		700	5,863	
受取手形及び売掛金		38,049		30,028		△ 8,021	26,322	
有価証券		12,167		2,540		△ 9,627	7,338	
商品及び製品		7,208		7,349		141	6,979	
仕掛品		37		31		△ 6	37	
原材料及び貯蔵品		11,418		14,670		3,252	12,601	
その他		14,176		12,926		△ 1,249	10,308	
貸倒引当金		△ 60		△ 106		△ 45	△ 92	
流動資産合計		89,782	56.4	74,927	51.2	△ 14,854	69,359	50.0
II 固 定 資 産								
有形固定資産								
建物及び構築物		14,628		15,311		683	14,400	
機械装置及び運搬具		18,520		17,356		△ 1,163	17,283	
工具、器具及び備品		929		843		△ 85	853	
土地		12,507		12,431		△ 75	12,190	
リース資産		2,421		3,245		824	3,094	
建設仮勘定		238		689		451	152	
有形固定資産合計		49,244	30.9	49,878	34.1	634	47,975	34.6
無形固定資産								
のれん		—		242		242	19	
ソフトウェア		1,597		1,611		14	1,589	
その他		440		465		25	452	
無形固定資産合計		2,037	1.3	2,320	1.6	282	2,061	1.5
投資その他の資産								
投資有価証券		14,876		14,892		15	15,010	
その他		3,365		4,381		1,015	4,438	
貸倒引当金		△ 158		△ 162		△ 4	△ 163	
投資その他の資産合計		18,084	11.4	19,111	13.1	1,027	19,286	13.9
固定資産合計		69,366	43.6	71,310	48.8	1,943	69,322	50.0
資産合計		159,149	100.0	146,238	100.0	△ 12,910	138,682	100.0

(3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 連結会計期間末 (平成19年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)								
I 流 動 負 債								
支払手形及び買掛金		21,106		15,034		△ 6,072	14,170	
短期借入金		3,376		4,365		989	2,487	
一年内返済予定の長期借入金		2,000		2,000		—	2,000	
未払金		13,712		11,202		△ 2,510	10,026	
未払法人税等		2,859		1,658		△ 1,201	162	
賞与引当金		1,864		1,882		18	1,839	
役員賞与引当金		36		13		△ 22	73	
その他		2,835		2,629		△ 206	1,864	
流動負債合計		47,792	30.0	38,787	26.5	△ 9,005	32,624	23.5
II 固 定 負 債								
長期借入金		6,369		6,789		420	5,000	
退職給付引当金		2,732		2,604		△ 128	2,520	
負ののれん		47		—		△ 47	—	
その他		7,700		7,883		182	8,158	
固定負債合計		16,850	10.6	17,277	11.8	427	15,679	11.3
負債合計		64,642	40.6	56,064	38.3	△ 8,577	48,303	34.8
(純資産の部)								
I 株 主 資 本								
資本金		19,985	12.5	19,985	13.7	—	19,985	14.4
資本剰余金		23,733	14.9	23,733	16.2	—	23,733	17.1
利益剰余金		44,245	27.8	43,597	29.8	△ 647	43,989	31.7
自己株式		△ 38	△ 0.0	△ 57	△ 0.0	△ 18	△ 42	△ 0.0
株主資本合計		87,925	55.2	87,259	59.7	△ 666	87,665	63.2
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
その他有価証券評価差額金		1,878	1.2	975	0.6	△ 903	1,022	0.7
繰延ヘッジ損益		2,725	1.7	423	0.3	△ 2,301	△ 9	△ 0.0
為替換算調整勘定		13	0.0	△ 495	△ 0.3	△ 509	△ 323	△ 0.2
評価・換算差額等合計		4,617	2.9	903	0.6	△ 3,714	689	0.5
III 少 数 株 主 持 分		1,964	1.3	2,011	1.4	47	2,022	1.5
純資産合計		94,506	59.4	90,173	61.7	△ 4,332	90,378	65.2
負債純資産合計		159,149	100.0	146,238	100.0	△ 12,910	138,682	100.0

(注) 前連結会計年度末に係る要約連結貸借対照表及び前第2四半期連結会計期間末四半期連結貸借対照表は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(4) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	期 別		前第2四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		増 減		前連結会計年度の 連結損益計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比		
	I 売 上 高	110,142	100.0	98,179	100.0	△ 11,962	△ 10.9	200,483	100.0	
II 売 上 原 価	57,991	52.7	53,154	54.1	△ 4,836		108,954	54.3		
売 上 総 利 益	52,151	47.3	45,025	45.9	△ 7,125	△ 13.7	91,529	45.7		
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	44,721	40.6	42,183	43.0	△ 2,538		82,742	41.3		
営 業 利 益	7,429	6.7	2,841	2.9	△ 4,587	△ 61.8	8,786	4.4		
IV 営 業 外 収 益										
受 取 利 息	102		67		△ 35		221			
受 取 配 当 金	87		126		39		218			
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	—		88		88		—			
そ の 他	208		342		133		458			
営 業 外 収 益 合 計	398	0.4	624	0.6	226		897	0.5		
V 営 業 外 費 用										
支 払 利 息	177		304		126		375			
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	89		—		△ 89		773			
休 止 固 定 資 産 減 価 償 却 費	—		105		105		—			
そ の 他	71		83		12		169			
営 業 外 費 用 合 計	338	0.3	493	0.5	154		1,318	0.7		
経 常 利 益	7,488	6.8	2,973	3.0	△ 4,515	△ 60.3	8,366	4.2		
VI 特 別 利 益										
固 定 資 産 売 却 益	153		2		△ 150		158			
投 資 有 価 証 券 売 却 益	0		61		61		1			
特 別 利 益 合 計	153	0.1	63	0.1	△ 89		159	0.1		
VII 特 別 損 失										
固 定 資 産 処 分 損	166		112		△ 54		557			
リ ー ス 会 計 基 準 適 用 に 伴 う 影 響 額	—		98		98		—			
投 資 有 価 証 券 売 却 損	—		—		—		0			
投 資 有 価 証 券 評 価 損	3		—		△ 3		3			
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	0		4		4		1			
特 別 損 失 合 計	170	0.1	216	0.2	45		561	0.3		
税金等調整前 四半期(当期)純利益	7,471	6.8	2,821	2.9	△ 4,650	△ 62.2	7,964	4.0		
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	2,762		1,931		△ 830		1,721			
法 人 税 等 調 整 額	332		△ 214		△ 547		2,225			
法 人 税 等 合 計	3,095	2.8	1,716	1.8	△ 1,378		3,946	2.0		
少 数 株 主 利 益 又 は 少 数 株 主 損 失 (△)	△ 46	△ 0.0	2	0.0	49		△ 150	△ 0.1		
四 半 期 (当 期) 純 利 益	4,422	4.0	1,101	1.1	△ 3,321	△ 75.1	4,167	2.1		

(注) 前連結会計年度の連結損益計算書及び前第2四半期連結累計期間四半期連結損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。なおこの組替えにより、前連結会計年度の売上総利益は1,334百万円減少し、営業利益が1,065百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、この組替えにより前第2四半期連結累計期間の売上総利益は874百万円減少し、営業利益が732百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(9月30日に終了した3ヶ月間)

(単位:百万円、%)

科 目	期 別		前第2四半期 連結会計期間 (自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		増 減	
			金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
I 売 上 高			57,170	100.0	49,559	100.0	△ 7,610	△ 13.3
II 売 上 原 価			30,500	53.4	26,262	53.0	△ 4,238	
売 上 総 利 益			26,669	46.6	23,297	47.0	△ 3,372	△ 12.6
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			23,566	41.2	21,960	44.3	△ 1,605	
営 業 利 益			3,102	5.4	1,336	2.7	△ 1,766	△ 56.9
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息			57		39		△ 18	
受 取 配 当 金			3		12		9	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益			114		4		△ 109	
そ の 他			109		203		94	
営 業 外 収 益 合 計			284	0.5	260	0.5	△ 24	
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息			100		152		52	
休 止 固 定 資 産 減 価 償 却 費			—		54		54	
そ の 他			39		99		59	
営 業 外 費 用 合 計			140	0.2	306	0.6	166	
経 常 利 益			3,247	5.7	1,290	2.6	△ 1,957	△ 60.3
VI 特 別 利 益								
固 定 資 産 売 却 益			153		—		△ 153	
投 資 有 価 証 券 売 却 益			—		61		61	
特 別 利 益 合 計			153	0.3	61	0.1	△ 91	
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損			92		9		△ 83	
投 資 有 価 証 券 評 価 損			2		—		△ 2	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損			0		4		4	
特 別 損 失 合 計			96	0.2	13	0.0	△ 82	
税金等調整前 四半期(当期)純利益			3,304	5.8	1,337	2.7	△ 1,966	△ 59.5
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税			1,014		1,157		142	
法 人 税 等 調 整 額			321		△ 212		△ 533	
法 人 税 等 合 計			1,336	2.4	945	1.9	△ 391	
少 数 株 主 損 失 (△)	△	53	△	0.1	△ 15	△	0.0	38
四 半 期 (当 期) 純 利 益			2,022	3.5	407	0.8	△ 1,614	△ 79.8

(注) 前第2四半期連結会計期間四半期連結損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(5) 四半期連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日至平成19年9月30日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成19年3月31日残高	19,985	23,733	41,316	△ 33	85,001	5,430	1,966	92,399
第2四半期連結累計期間中 の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
四半期純利益			4,422		4,422			4,422
自己株式の取得				△ 5	△ 5			△ 5
株主資本以外の項目の 第2四半期連結累計期間中 の変動額(純額)						△ 813	△ 2	△ 816
第2四半期連結累計期間中 の変動額合計	—	—	2,928	△ 5	2,923	△ 813	△ 2	2,108
平成19年9月30日残高	19,985	23,733	44,245	△ 38	87,925	4,617	1,964	94,506

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成19年3月31日残高	2,462	3,125	△ 157	5,430
第2四半期連結累計期間 中の変動額	△ 584	△ 400	170	△ 813
平成19年9月30日残高	1,878	2,725	13	4,617

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成20年3月31日残高	19,985	23,733	43,989	△ 42	87,665	689	2,022	90,378
第2四半期連結累計期間中 の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
四半期純利益			1,101		1,101			1,101
自己株式の取得				△ 14	△ 14			△ 14
株主資本以外の項目の 第2四半期連結累計期間中 の変動額(純額)						213	△ 11	201
第2四半期連結累計期間中 の変動額合計	—	—	△ 392	△ 14	△ 406	213	△ 11	△ 204
平成20年9月30日残高	19,985	23,733	43,597	△ 57	87,259	903	2,011	90,173

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成20年3月31日残高	1,022	△ 9	△ 323	689
第2四半期連結累計期間 中の変動額	△ 47	432	△ 172	213
平成20年9月30日残高	975	423	△ 495	903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成19年3月31日残高	19,985	23,733	41,316	△ 33	85,001	5,430	1,966	92,399
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
当期純利益			4,167		4,167			4,167
自己株式の取得				△ 9	△ 9			△ 9
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						△ 4,740	55	△ 4,685
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,673	△ 9	2,664	△ 4,740	55	△ 2,020
平成20年3月31日残高	19,985	23,733	43,989	△ 42	87,665	689	2,022	90,378

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成19年3月31日残高	2,462	3,125	△ 157	5,430
連結会計年度中の変動額	△ 1,440	△ 3,134	△ 166	△ 4,740
平成20年3月31日残高	1,022	△ 9	△ 323	689

(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	期 別		増減	前連結会計年度の 連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
	前第2四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	7,471	2,821	△ 4,650	7,964
2 減 価 償 却 費	3,504	3,466	△ 37	7,471
3 リース会計基準適用に伴う影響額	—	98	98	—
4 受 取 利 息 及 び 配 当 金	△ 189	△ 193	△ 4	△ 439
5 支 払 利 息	177	304	126	375
6 賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 726	△ 78	648	△ 713
7 その他の引当金の増減額(△は減少)	115	97	△ 17	△ 50
8 持分法による投資損益(△は利益)	89	△ 88	△ 178	773
9 固 定 資 産 処 分 損	166	112	△ 54	557
10 売上債権の増減額(△は増加)	△ 9,174	△ 3,442	5,731	2,460
11 たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 2,731	△ 1,989	741	△ 3,950
12 未収入金の増減額(△は増加)	△ 542	714	1,257	2,092
13 仕入債務の増減額(△は減少)	2,886	472	△ 2,413	△ 7,924
14 未払金の増減額(△は減少)	1,079	1,561	482	△ 2,914
15 その他の流動資産の増減額(△は増加)	△ 897	△ 1,710	△ 813	69
16 その他の流動負債の増減額(△は減少)	215	695	480	168
17 そ の 他 の 増 加 額	50	89	39	198
18 そ の 他 の 減 少 額	△ 232	△ 330	△ 97	△ 268
小 計	1,261	2,599	1,337	5,870
19 利息及び配当金の受取額	230	180	△ 50	508
20 利息の支払額	△ 166	△ 283	△ 116	△ 376
21 法人税等の支払額	△ 2,019	△ 588	1,431	△ 3,777
22 法人税等の還付額	—	575	575	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 694	2,483	3,178	2,225
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 有価証券の取得による支出	△ 3,446	△ 5	3,440	△ 5,297
2 有価証券の売却による収入	0	276	276	38
3 固定資産の取得による支出	△ 5,093	△ 2,096	2,997	△ 8,527
4 固定資産の除却による支出	—	△ 13	△ 13	—
5 固定資産の売却による収入	151	17	△ 133	23
6 貸付けによる支出	△ 200	△ 282	△ 82	△ 3,106
7 貸付金の回収による収入	20	147	126	2,006
8 そ の 他 の 増 加 額	71	117	46	23
9 そ の 他 の 減 少 額	△ 61	△ 5	55	△ 159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,557	△ 1,843	6,713	△ 14,999

(単位：百万円)

項 目	期 別	前第2四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	増減	前連結会計年度の 連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
		金 額	金 額	金 額	金 額
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
1 借入れによる収入		882	1,377	494	4,600
2 借入金の返済による支出	△	1,000	2,907	△ 1,907	△ 6,696
3 ファイナンス・リース債務の 返済による支出	△	366	475	△ 109	△ 810
4 少数株主からの払込みによる収入		40	—	△ 40	364
5 少数株主からの株式取得による支出		—	△ 227	△ 227	—
6 配当金の支払額	△	1,478	1,473	5	△ 1,483
7 少数株主への配当金の支払額	△	57	54	3	△ 57
8 自己株式の取得による支出	△	5	14	△ 8	△ 9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	1,984	3,774	△ 1,789	△ 4,091
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		19	52	33	△ 55
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△	11,217	3,081	8,135	△ 16,922
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	15	15	—
VII 現金及び現金同等物の期首残高		29,981	13,059	△ 16,922	29,981
VIII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		18,764	9,993	△ 8,771	13,059

(注) 前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書及び前第2四半期連結累計期間四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(7) 販売費及び一般管理費明細

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
販 売 手 数 料	2,753	2.5	1,987	2.0	△ 766	△ 27.8	4,757	2.4
販 売 促 進 費	18,308	16.6	16,095	16.4	△ 2,213	△ 12.1	33,619	16.8
広 告 宣 伝 費	4,615	4.2	5,148	5.2	532	11.5	7,376	3.7
運 賃 ・ 保 管 料	5,608	5.1	5,187	5.3	△ 421	△ 7.5	10,345	5.2
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	39	0.0	20	0.0	△ 19	△ 48.6	25	0.0
人 件 費	7,129	6.5	7,379	7.5	250	3.5	14,216	7.1
減 価 償 却 費	964	0.9	880	0.9	△ 84	△ 8.7	2,003	1.0
そ の 他	5,301	4.8	5,485	5.6	183	3.5	10,397	5.2
合 計	44,721	40.6	42,183	43.0	△ 2,538	△ 5.7	82,742	41.3

(注) 1. 百分比は、売上高に対する割合です。

2. 前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(8) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
商 品 及 び 製 品	66	104	203
原 材 料	596	65	687
輸 入 雑 損 失 等	131	158	295
合 計	794	328	1,186

(注) 前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(9) 支払利息明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
支 払 利 息	115	235	253
リ ー ス 支 払 利 息	62	68	121
合 計	177	304	375

(注) 前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(10) 有価証券関係

前連結会計年度末(平成20年3月31日)

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	10,440	12,147	1,707
その他	137	142	4
計	10,578	12,290	1,711

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	10,336	11,969	1,632
その他	35	33	△ 1
計	10,371	12,003	1,631

(11) セグメント別売上高

事業の種類		前第2四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)	構成比(%)
飲料	外部顧客に対するもの	57,629		45,544		△ 12,085	△ 21.0	98,761	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	57,629	49.6	45,544	43.9	△ 12,085	△ 21.0	98,761	46.7
乳酸菌	外部顧客に対するもの	8,213		6,398		△ 1,815	△ 22.1	15,495	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	8,213	7.1	6,398	6.2	△ 1,815	△ 22.1	15,495	7.3
食品	外部顧客に対するもの	14,514		14,546		31	0.2	29,008	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	14,514	12.5	14,546	14.0	31	0.2	29,008	13.7
ギフト	外部顧客に対するもの	4,935		5,227		292	5.9	7,175	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	4,935	4.3	5,227	5.0	292	5.9	7,175	3.5
業務用	外部顧客に対するもの	16,321		18,276		1,955	12.0	34,397	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	16,321	14.0	18,276	17.6	1,955	12.0	34,397	16.3
生鮮野菜	外部顧客に対するもの	3,642		3,620		△ 22	△ 0.6	6,650	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	3,642	3.1	3,620	3.5	△ 22	△ 0.6	6,650	3.1
通販	外部顧客に対するもの	3,471		3,524		52	1.5	6,304	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	3,471	3.0	3,524	3.4	52	1.5	6,304	3.0
その他	外部顧客に対するもの	252		140		△ 112	△ 44.6	435	
	セグメント間取引	5		2		△ 3		10	
	計	258	0.2	142	0.1	△ 116	△ 44.8	445	0.2
食品セグメント計	外部顧客に対するもの	108,981		97,277		△ 11,703	△ 10.7	198,229	
	セグメント間取引	5		2		△ 3		10	
	計	108,987	93.8	97,280	93.7	△ 11,706	△ 10.7	198,239	93.8
物流	外部顧客に対するもの	869		609		△ 259	△ 29.9	1,709	
	セグメント間取引	5,814		5,316		△ 498		10,319	
	計	6,684	5.7	5,925	5.8	△ 758	△ 11.3	12,029	5.7
不動産	外部顧客に対するもの	291		292		0	0.2	544	
	セグメント間取引	285		273		△ 12		557	
	計	577	0.5	565	0.5	△ 11	△ 2.1	1,102	0.5
その他セグメント計	外部顧客に対するもの	1,160		901		△ 259	△ 22.3	2,254	
	セグメント間取引	6,100		5,589		△ 511		10,877	
	計	7,261	6.2	6,491	6.3	△ 770	△ 10.6	13,131	6.2
セグメント売上高		116,248	100.0	103,772	100.0	△ 12,476	△ 10.7	211,370	100.0
セグメント間取引		△ 6,106	—	△ 5,592	—	514		△ 10,887	—
連結売上高		110,142	—	98,179	—	△ 11,962	△ 10.9	200,483	—

(注) 1. 金額は消費税等を含めておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
伊藤忠商事㈱	25,938	23.5	21,774	22.2	45,969	22.9

(9月30日に終了した3ヶ月間)

事業の種類		前第2四半期 連結会計期間 (自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		増減	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
飲料	外部顧客に対するもの	29,942		22,556		△ 7,386	△ 24.7
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	29,942	49.7	22,556	43.1	△ 7,386	△ 24.7
乳酸菌	外部顧客に対するもの	4,128		3,091		△ 1,036	△ 25.1
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	4,128	6.9	3,091	5.9	△ 1,036	△ 25.1
食品	外部顧客に対するもの	6,884		7,474		589	8.6
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	6,884	11.4	7,474	14.3	589	8.6
ギフト	外部顧客に対するもの	2,784		3,173		388	14.0
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	2,784	4.6	3,173	6.1	388	14.0
業務用	外部顧客に対するもの	8,695		9,268		572	6.6
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	8,695	14.4	9,268	17.7	572	6.6
生鮮野菜	外部顧客に対するもの	1,656		1,394		△ 262	△ 15.8
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	1,656	2.8	1,394	2.7	△ 262	△ 15.8
通販	外部顧客に対するもの	2,176		2,116		△ 59	△ 2.7
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	2,176	3.6	2,116	4.0	△ 59	△ 2.7
その他	外部顧客に対するもの	169		73		△ 96	△ 56.7
	セグメント間取引	3		1		△ 1	
	計	172	0.3	74	0.1	△ 98	△ 56.8
食品セグメント計	外部顧客に対するもの	56,438		49,147		△ 7,290	△ 12.9
	セグメント間取引	3		1		△ 1	
	計	56,441	93.7	49,149	93.9	△ 7,292	△ 12.9
物流	外部顧客に対するもの	608		284		△ 323	△ 53.2
	セグメント間取引	2,892		2,660		△ 232	
	計	3,501	5.9	2,945	5.6	△ 556	△ 15.9
不動産	外部顧客に対するもの	122		126		4	3.5
	セグメント間取引	146		137		△ 9	
	計	269	0.4	264	0.5	△ 4	△ 1.8
その他セグメント計	外部顧客に対するもの	731		411		△ 319	△ 43.7
	セグメント間取引	3,039		2,798		△ 241	
	計	3,771	6.3	3,209	6.1	△ 561	△ 14.9
セグメント売上高		60,212	100.0	52,359	100.0	△ 7,853	△ 13.0
セグメント間取引		△ 3,042	—	△ 2,799	—	243	
連結売上高		57,170	—	49,559	—	△ 7,610	△ 13.3

(注) 金額は消費税等を含めておりません。

(12) 四半期損益情報

(単位：百万円)

前連結会計年度	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間	通期
	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)	(自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)	(自平成20年1月1日 至平成20年3月31日)	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
売上高	52,972	57,170	48,755	41,586	200,483
(対前年同期増減率)	(11.4%)	(8.3%)	(9.6%)	(△1.4%)	(7.2%)
営業利益	4,326	3,102	2,662	△1,304	8,786
(対売上高比率)	(8.2%)	(5.4%)	(5.5%)	(△3.1%)	(4.4%)
経常利益	4,241	3,247	2,374	△1,496	8,366
(対売上高比率)	(8.0%)	(5.7%)	(4.9%)	(△3.6%)	(4.2%)
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,166	3,304	2,353	△1,860	7,964
(対売上高比率)	(7.9%)	(5.8%)	(4.8%)	(△4.5%)	(4.0%)
四半期(当期)純利益	2,400	2,022	1,101	△1,356	4,167
(対売上高比率)	(4.5%)	(3.5%)	(2.3%)	(△3.3%)	(2.1%)

(注) 前連結会計年度の第1四半期連結会計期間、第2四半期連結会計期間、第3四半期連結会計期間、第4四半期連結会計期間及び通期実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(単位：百万円)

当連結会計年度	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間	通期予想
	(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	(自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	48,620	49,559			190,000
(対前年同期増減率)	(△8.2%)	(△13.3%)			(△5.2%)
営業利益	1,504	1,336			7,200
(対売上高比率)	(3.1%)	(2.7%)			(3.8%)
経常利益	1,682	1,290			7,000
(対売上高比率)	(3.5%)	(2.6%)			(3.7%)
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,483	1,337			6,500
(対売上高比率)	(3.1%)	(2.7%)			(3.4%)
四半期(当期)純利益	693	407			2,800
(対売上高比率)	(1.4%)	(0.8%)			(1.5%)

(13) 事業別連結営業利益

<2008年度>

平成21年3月期第1四半期連結会計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）－ 実績

(単位：百万円)

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	28,348	7,072	9,007	2,226	1,408	556	-	48,620
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,792	△ 2,792	-
計	28,348	7,072	9,007	2,226	1,408	3,349	△ 2,792	48,620
II 営業費用	27,456	6,553	8,904	2,531	1,364	3,098	△ 2,792	47,115
営業利益	892	518	103	△ 304	44	250	-	1,504
売上高営業利益率(%)	3.2%	7.3%	1.1%	△ 13.7%	3.1%	7.5%	-	3.1%

平成21年3月期第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日～平成20年9月30日）－ 実績

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	28,821	7,474	9,268	1,394	2,116	485	-	49,559
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,799	△ 2,799	-
計	28,821	7,474	9,268	1,394	2,116	3,284	△ 2,799	49,559
II 営業費用	28,933	6,318	9,404	1,612	1,617	3,136	△ 2,799	48,223
営業利益	△ 112	1,155	△ 135	△ 218	498	148	-	1,336
売上高営業利益率(%)	△ 0.4%	15.5%	△ 1.5%	△ 15.6%	23.5%	4.5%	-	2.7%

平成21年3月期第3・4四半期連結会計期間（予想）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	50,930	14,254	19,124	3,380	2,976	1,159	-	91,821
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	5,108	△ 5,108	-
計	50,930	14,254	19,124	3,380	2,976	6,266	△ 5,108	91,821
II 営業費用	48,611	12,928	18,992	3,857	2,219	5,966	△ 5,108	87,462
営業利益	2,320	1,326	132	△ 478	758	301	-	4,359
売上高営業利益率(%)	4.6%	9.3%	0.7%	△ 14.1%	25.5%	4.8%	-	4.8%

平成21年3月期通期（予想）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	108,100	28,800	37,400	7,000	6,500	2,200	-	190,000
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	10,700	△ 10,700	-
計	108,100	28,800	37,400	7,000	6,500	12,900	△ 10,700	190,000
II 営業費用	105,000	25,800	37,300	8,000	5,200	12,200	△ 10,700	182,800
営業利益	3,100	3,000	100	△ 1,000	1,300	700	-	7,200
売上高営業利益率(%)	2.9%	10.4%	0.3%	△ 14.3%	20.0%	5.4%	-	3.8%

<2007年度>

平成20年3月期第1四半期連結会計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）－ 実績

（単位：百万円）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	33,922	7,629	7,625	1,986	1,295	512	-	52,972
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	3,063	△ 3,063	-
計	33,922	7,629	7,625	1,986	1,295	3,576	△ 3,063	52,972
II 営業費用	30,952	7,084	7,098	2,044	1,214	3,315	△ 3,063	48,645
営業利益	2,970	545	527	△ 58	81	260	-	4,326
売上高営業利益率(%)	8.8%	7.1%	6.9%	△ 2.9%	6.3%	7.3%	-	8.2%

平成20年3月期第2四半期連結会計期間（平成19年7月1日～平成19年9月30日）－ 実績

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	36,855	6,884	8,695	1,655	2,175	899	-	57,170
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	3,042	△ 3,042	-
計	36,855	6,884	8,695	1,655	2,175	3,941	△ 3,042	57,170
II 営業費用	34,545	6,632	8,700	1,779	1,794	3,653	△ 3,042	54,066
営業利益	2,310	251	△ 4	△ 123	381	287	-	3,103
売上高営業利益率(%)	6.3%	3.7%	△ 0.1%	△ 7.4%	17.5%	7.3%	-	5.4%

平成20年3月期第3・4四半期連結会計期間－ 実績

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	50,654	14,494	18,076	3,008	2,833	1,277	-	90,340
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	4,781	△ 4,781	-
計	50,654	14,494	18,076	3,008	2,833	6,058	△ 4,781	90,340
II 営業費用	50,383	13,381	18,016	3,633	2,577	5,777	△ 4,781	88,984
営業利益	271	1,113	59	△ 625	257	282	-	1,356
売上高営業利益率(%)	0.5%	7.7%	0.3%	△ 20.8%	9.1%	4.7%	-	1.5%

平成20年3月期通期（実績）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	121,432	29,008	34,397	6,650	6,304	2,689	-	200,483
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	10,887	△ 10,887	-
計	121,432	29,008	34,397	6,650	6,304	13,577	△ 10,887	200,483
II 営業費用	115,880	27,098	33,815	7,456	5,585	12,746	△ 10,887	191,696
営業利益	5,551	1,910	581	△ 806	719	830	-	8,786
売上高営業利益率(%)	4.6%	6.6%	1.7%	△ 12.1%	11.4%	6.1%	-	4.4%

（注）前連結会計年度の第1四半期連結会計期間、第2四半期連結会計期間、第3・4四半期連結会計期間及び通期実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

<増減>

第1四半期連結会計期間 — 増減

(単位：百万円)

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	△ 5,574	△ 557	1,382	240	113	44	-	△ 4,351
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	△ 271	271	-
計	△ 5,574	△ 557	1,382	240	113	△ 227	271	△ 4,351
II 営業費用	△ 3,496	△ 531	1,806	487	150	△ 217	271	△ 1,530
営業利益	△ 2,078	△ 27	△ 424	△ 246	△ 37	△ 10	-	△ 2,821

第2四半期連結会計期間 — 増減

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	△ 8,034	590	573	△ 261	△ 59	△ 414	-	△ 7,611
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	△ 243	243	-
計	△ 8,034	590	573	△ 261	△ 59	△ 657	243	△ 7,611
II 営業費用	△ 5,612	△ 314	704	△ 167	△ 177	△ 517	243	△ 5,843
営業利益	△ 2,422	904	△ 131	△ 95	117	△ 139	-	△ 1,767

第3・4四半期連結会計期間 — 増減

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	276	△ 240	1,048	372	143	△ 118	-	1,481
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	327	△ 327	-
計	276	△ 240	1,048	372	143	208	△ 327	1,481
II 営業費用	△ 1,772	△ 453	976	224	△ 358	189	△ 327	△ 1,522
営業利益	2,049	213	73	147	501	19	-	3,003

通期 — 増減

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	△ 13,332	△ 208	3,003	350	196	△ 489	-	△ 10,483
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	△ 187	187	-
計	△ 13,332	△ 208	3,003	350	196	△ 677	187	△ 10,483
II 営業費用	△ 10,880	△ 1,298	3,485	544	△ 385	△ 546	187	△ 8,896
営業利益	△ 2,451	1,090	△ 481	△ 194	581	△ 130	-	△ 1,586

(14) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 会計期間末 (平成19年9月30日)		当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)		増 減 金 額	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)								
I 流 動 資 産								
現金及び預金		3,020		3,230		209	1,902	
受取手形及び売掛金		36,532		28,197		△ 8,335	25,078	
有価証券		11,978		2,506		△ 9,471	7,195	
商品及び製品		7,078		5,779		△ 1,298	6,224	
仕掛品		19		12		△ 6	19	
原材料及び貯蔵品		8,169		12,223		4,053	9,540	
その他の		19,700		14,401		△ 5,298	13,806	
貸倒引当金		△ 56		△ 54		2	△ 37	
流動資産合計		86,442	61.0	66,297	51.9	△ 20,144	63,731	51.3
II 固 定 資 産								
有形固定資産								
建物及び構築物		9,313		8,760		△ 553	8,991	
機械装置及び運搬具		9,274		7,749		△ 1,525	8,467	
工具、器具及び備品		642		561		△ 80	564	
土地		2,482		2,484		1	2,484	
リース資産		1,342		1,233		△ 109	1,233	
建設仮勘定		59		388		328	9	
有形固定資産合計		23,115	16.3	21,177	16.6	△ 1,937	21,750	17.4
無形固定資産								
ソフトウェア		1,550		1,526		△ 24	1,526	
その他の		189		161		△ 28	176	
無形固定資産合計		1,740	1.2	1,687	1.3	△ 52	1,702	1.4
投資その他の資産								
投資有価証券		13,394		13,854		460	13,903	
関係会社株式		7,526		11,071		3,544	9,497	
その他の		9,705		13,732		4,027	13,854	
貸倒引当金		△ 148		△ 158		△ 9	△ 155	
投資その他の資産合計		30,476	21.5	38,500	30.2	8,023	37,099	29.9
固定資産合計		55,332	39.0	61,365	48.1	6,033	60,553	48.7
資産合計		141,775	100.0	127,663	100.0	△ 14,111	124,284	100.0

(14) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 会計期間末 (平成19年9月30日)		当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)		増 減 金 額	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)								
I 流 動 負 債								
支 払 手 形 及 び 買 掛 金		20,783		14,145		△ 6,637	13,605	
短 期 借 入 金		700		900		200	750	
一 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金		2,000		2,000		—	2,000	
未 払 金		12,821		10,378		△ 2,442	9,410	
未 払 法 人 税 等		2,609		1,435		△ 1,174	—	
賞 与 引 当 金		1,631		1,625		△ 5	1,637	
役 員 賞 与 引 当 金		36		13		△ 22	73	
そ の 他		1,840		1,618		△ 222	1,151	
流 動 負 債 合 計		42,423	29.9	32,118	25.2	△ 10,304	28,627	23.0
II 固 定 負 債								
長 期 借 入 金		6,000		4,000		△ 2,000	5,000	
退 職 給 付 引 当 金		1,679		1,612		△ 67	1,490	
そ の 他		1,495		1,314		△ 181	1,353	
固 定 負 債 合 計		9,175	6.5	6,927	5.4	△ 2,248	7,844	6.3
負 債 合 計		51,599	36.4	39,045	30.6	△ 12,553	36,471	29.3
(純資産の部)								
I 株 主 資 本								
資 本 金		19,985	14.1	19,985	15.7	—	19,985	16.1
資 本 剰 余 金		23,733	16.7	23,733	18.5	—	23,733	19.1
利 益 剰 余 金		42,035	29.7	43,683	34.2	1,648	43,264	34.8
自 己 株 式	△	38	△ 0.0	57	△ 0.0	△ 18	△ 42	△ 0.0
株 主 資 本 合 計		85,715	60.5	87,345	68.4	1,629	86,940	70.0
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		1,735	1.2	848	0.7	△ 886	881	0.7
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		2,725	1.9	423	0.3	△ 2,301	△ 9	△ 0.0
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		4,460	3.1	1,272	1.0	△ 3,188	871	0.7
純 資 産 合 計		90,176	63.6	88,618	69.4	△ 1,558	87,812	70.7
負 債 純 資 産 合 計		141,775	100.0	127,663	100.0	△ 14,111	124,284	100.0

(注) 前事業年度末に係る要約貸借対照表及び前第2四半期会計期間末四半期個別貸借対照表は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(15) 四半期個別損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第2四半期 累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		当第2四半期 累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		増 減		前事業年度の 損益計算書 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
	I 売 上 高	102,192	100.0	88,961	100.0	△ 13,230	△ 12.9	183,014
II 売 上 原 価	52,643	51.5	45,670	51.3	△ 6,973		95,542	52.2
売 上 総 利 益	49,548	48.5	43,291	48.7	△ 6,256	△ 12.6	87,472	47.8
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	42,848	41.9	40,169	45.2	△ 2,679		78,644	43.0
営 業 利 益	6,699	6.6	3,122	3.5	△ 3,577	△ 53.4	8,827	4.8
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息	142		139		△ 3		296	
受 取 配 当 金	169		206		36		300	
そ の 他	259		364		105		475	
営 業 外 収 益 合 計	572	0.5	710	0.8	137		1,071	0.6
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息	97		78		△ 19		180	
休 止 固 定 資 産 減 価 償 却 費	—		105		105		—	
そ の 他	89		101		11		249	
営 業 外 費 用 合 計	187	0.2	285	0.3	97		430	0.2
経 常 利 益	7,084	6.9	3,547	4.0	△ 3,536	△ 49.9	9,469	5.2
VI 特 別 利 益								
固 定 資 産 売 却 益	153		0		△ 153		156	
そ の 他	0		—		△ 0		0	
特 別 利 益 合 計	153	0.2	0	0.0	△ 153		157	0.1
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	157		14		△ 143		526	
リ ー ス 会 計 基 準 適 用 に 伴 う 影 響 額	—		87		87		—	
そ の 他	3		4		0		4	
特 別 損 失 合 計	161	0.2	106	0.1	△ 55		530	0.3
税引前四半期(当期)純利益	7,076	6.9	3,441	3.9	△ 3,634	△ 51.4	9,095	5.0
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	2,515		1,714		△ 800		1,412	
法 人 税 等 調 整 額	311		△ 185		△ 497		2,204	
法 人 税 等 合 計	2,826	2.7	1,529	1.8	△ 1,297		3,616	2.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	4,249	4.2	1,912	2.1	△ 2,336	△ 55.0	5,478	3.0

(注) 前事業年度の損益計算書及び前第2四半期累計期間四半期個別損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。
 なおこの組替えにより、前事業年度の売上総利益は1,372百万円減少し、営業利益が1,045百万円減少しておりますが、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。また、この組替えにより前第2四半期累計期間の売上総利益は902百万円減少し、営業利益が738百万円減少しておりますが、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

(9月30日に終了した3ヶ月間)

科 目	期 別		前第2四半期 会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日)		当第2四半期 会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)		増 減	
			金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
I 売 上 高			52,523	100.0	44,930	100.0	△ 7,593	△ 14.5
II 売 上 原 価			27,133	51.7	22,402	49.9	△ 4,730	
売 上 総 利 益			25,390	48.3	22,527	50.1	△ 2,862	△ 11.3
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			22,451	42.7	20,828	46.3	△ 1,622	
営 業 利 益			2,938	5.6	1,698	3.8	△ 1,240	△ 42.2
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息			72		66		△ 6	
受 取 配 当 金			2		12		9	
そ の 他			131		190		59	
営 業 外 収 益 合 計			206	0.4	269	0.6	63	
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息			39		39		0	
休 止 固 定 資 産 減 価 償 却 費			—		54		54	
そ の 他			41		70		29	
営 業 外 費 用 合 計			80	0.2	164	0.4	83	
経 常 利 益			3,065	5.8	1,804	4.0	△ 1,261	△ 41.1
VI 特 別 利 益								
固 定 資 産 売 却 益			153		—		△ 153	
特 別 利 益 合 計			153	0.3	—	—	△ 153	
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損			85		6		△ 79	
そ の 他			3		4		1	
特 別 損 失 合 計			88	0.1	11	0.0	△ 77	
税引前四半期(当期)純利益			3,129	6.0	1,792	4.0	△ 1,336	△ 42.7
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税			925		1,063		137	
法 人 税 等 調 整 額			311		△ 185		△ 497	
法 人 税 等 合 計			1,237	2.4	877	2.0	△ 359	
四 半 期 純 利 益			1,892	3.6	914	2.0	△ 977	△ 51.6

(注) 前第2四半期会計期間四半期個別損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

当資料お取扱い上の注意点

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的
事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの
経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見
通しのみに全面的な依拠することは控えるようお願い致しま
す。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績
見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきく
ださい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、以下のよ
うなものが含まれます。すなわち、①天候、特に夏場の低温 ②
異物混入等の製品事故 ③カゴメの事業領域を取り巻く経済情
勢、特に消費動向 ④変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激
しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品
やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などで
す。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるも
のではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く
理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めす
るためのものではありません。さらに当資料に記載されている
市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正
確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の
予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なし
に変更することがありますので注意ください。